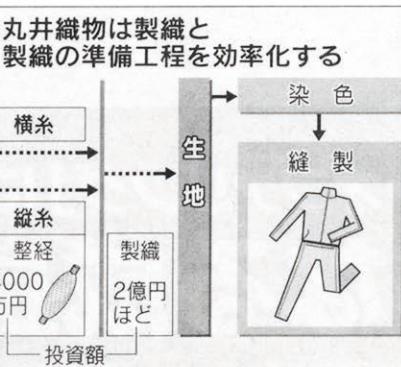


# 製織準備に少量対応機

## 丸井織物 材料糸の在庫削減

生地製造大手の丸井織物（石川県中能登町）は総額2億5000万円ほどを投資して生産効率化を進める。材料にする糸の在庫を減らすため、生地を織る製織の準備工程に少量生産用の新機械を導入。製織工程でも生産性の高い新しい織機への入れ替えを進める。欧州の景気持ち直しなどにより得意とするスポーツウエア用生地の需要が上向いており、コスト競争力を強化して取り込みを目指す。



## 効率化へ2.5億円投資



七尾工場では製織準備工程を効率化する  
(石川県七尾市)

同社は現在、業界で標準とされる、700本以上の糸を整経する機械を9台所有、使用している。しかし実際は縦糸の数がこれより少なくてすむ小さなサイズの生地の注文も多く、現状の整経機で一度、巻き取った後、小分けして織機に送り込む

作業工程。8月にも石川県七尾市の工場に4000万円掛け、一度に100~300本の糸を整経する機械を1台導入する。

導入するのは、織機に送る前に縦糸を均一に巻き付ける「整経」と呼ばれる作業工程。8月にも石川県七尾市の工場に4000万円掛け、一度に

100~300本の糸を整経する機械を1台導入する。本社工場にある製織の工程でも生産効率のよい

期間を半分程度に短縮できるという。最新鋭の織機への入れ替えを進める。4月に90台を更新。今年後半100~300本の縦糸で織る生地では、糸の発注から生地ができるまで31台を更新。新機械の期間を半分程度に短縮できるという。

新機械を使うと、一定時間当たりの生産量は2割ほど向上する。丸井織物は透湿性の高さで、中国の衣料メーカーである宮米織物（中能登町）と合わせた販売拡大による引き合いが増えている。同社は1956年創立。グローバル化から、中国の衣料メーカーの生産が主力。ここへ来て欧州向け販売が持ち直している。同社は

2012年12月期の売上高は65億円。

2012年12月期の売上高は65億円。

2012年12月期の売上高は65億円。

2012年12月期の売上高は65億円。

2012年12月期の売上高は65億円。

2012年12月期の売上高は65億円。

2012年12月期の売上高は65億円。

2012年12月期の売上高は65億円。

2012年12月期の売上高は65億円。